

経営比較分析表（令和2年度決算）

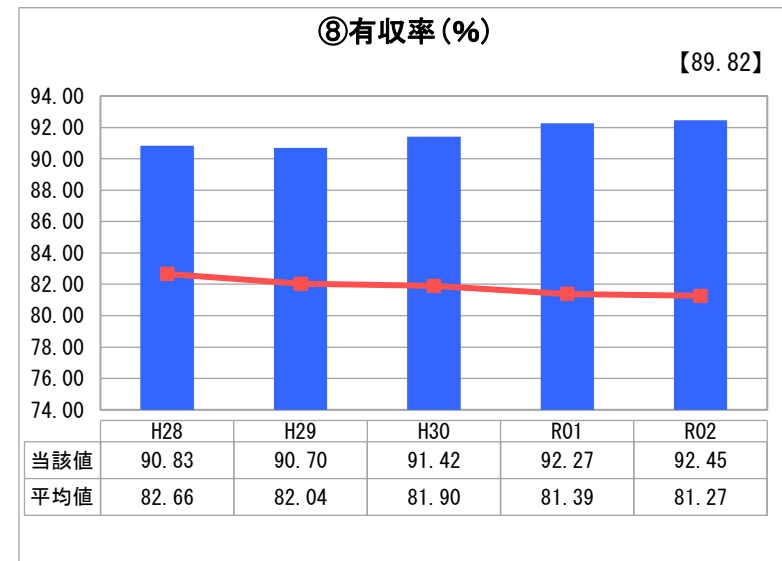
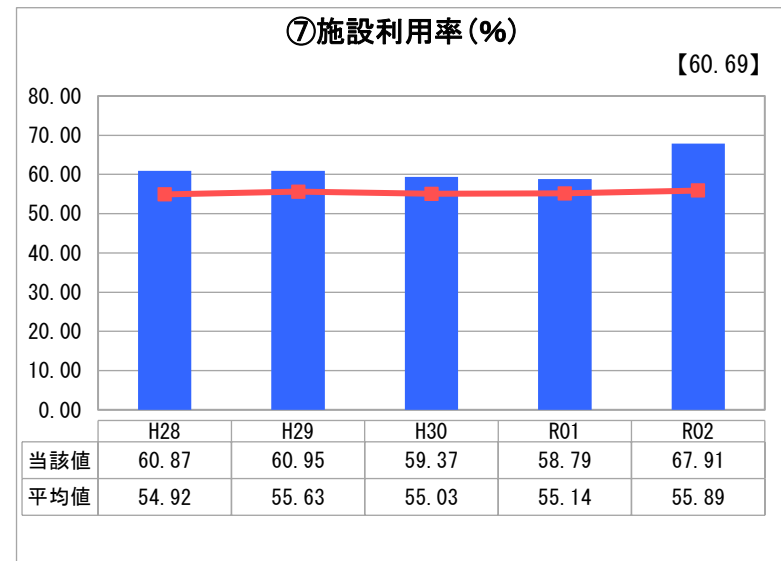
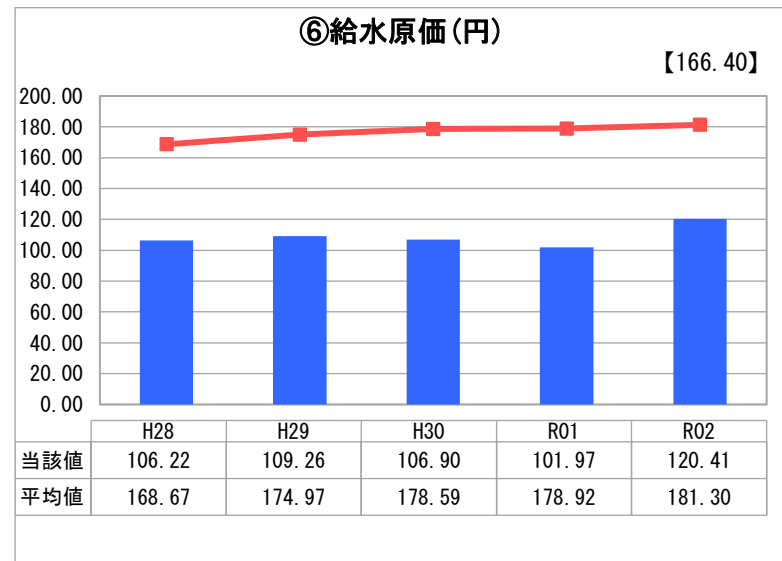
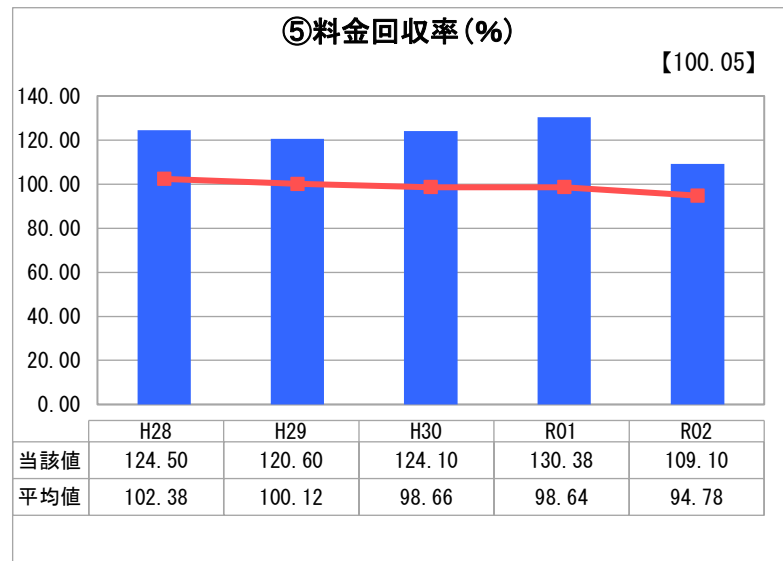
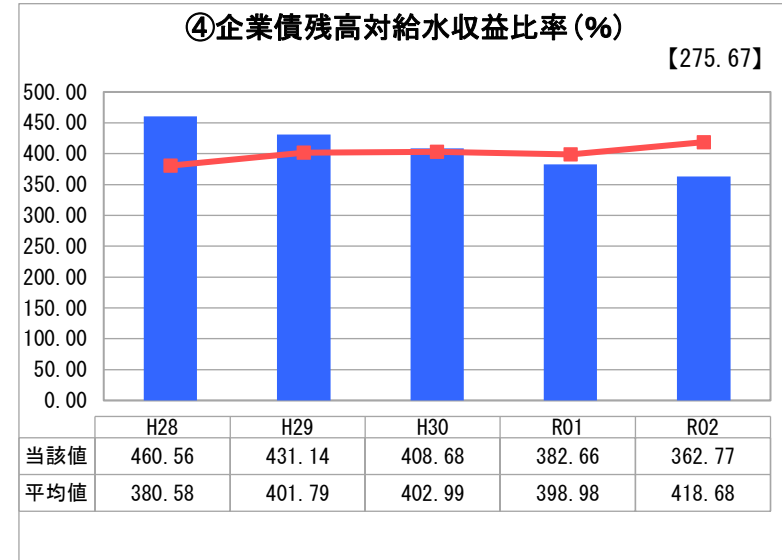
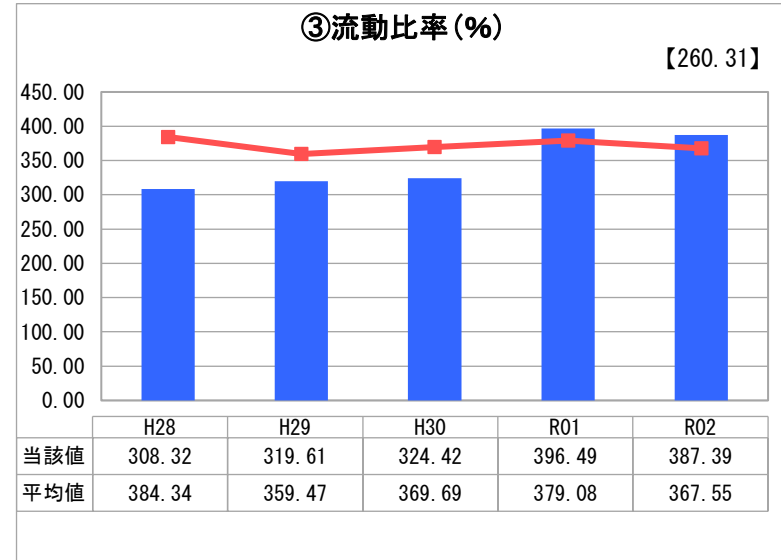
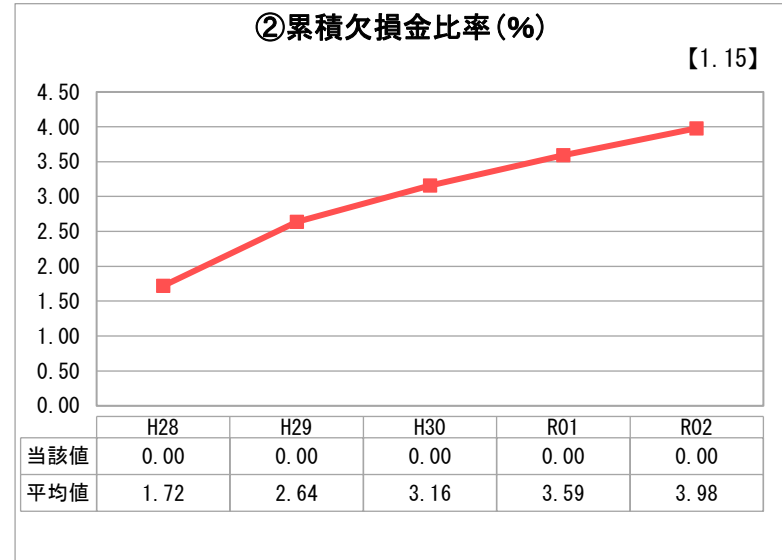
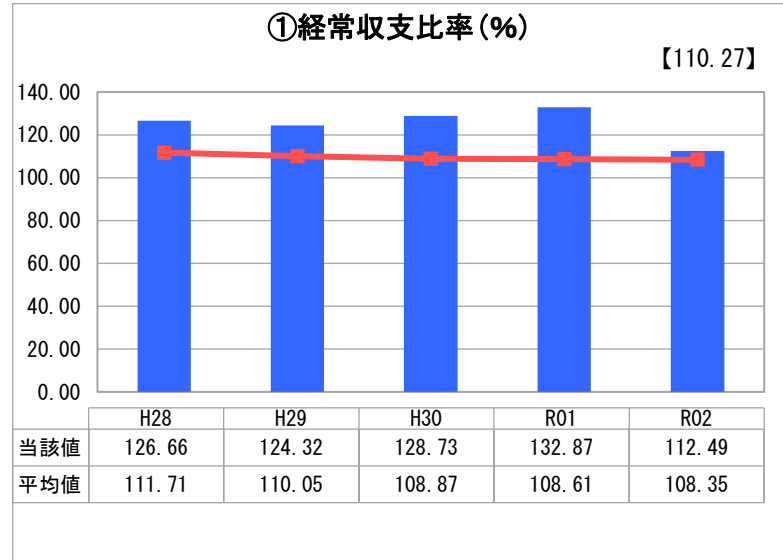
福井県 小浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.34	97.58	1,452	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,934	233.11	124.12
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
28,116	21.67	1,297.46

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：類似団体の平均値を上回っているが、前年度の状況に比べ、簡易水道事業の統合を行ったことにより水準が低くなった。今後も平均値を上回ることができるよう経営の健全化に努める。

② 累積欠損金比率：累積欠損金が発生しておらず、健全な状態である。

③ 流動比率：前年度に比べて減少しているが、類似団体の平均を上回る水準であり、今後も単年度中の企業債発行額が企業債償還額を上回らないよう、計画的に投資していきたい。

④ 企業債残高対給水収益比率：年々減少傾向にあるが、将来にわたり施設や管路の更新等において企業債の発行が予想されることから、水道料金等の見直し等も検討する必要がある。

⑤ 料金回収率：100%を超えているが、給水収益の減少や将来の施設更新等に伴う企業債の発行により、償還額の増加が予想されることから、適切な料金設定の検討と回収に努める。

⑥ 給水原価：類似団体と比較すると低い傾向にあるため、今後も原価の抑制や漏水防止に努める。

⑦ 施設利用率：類似団体より高い状況であり、当年度の負荷率についても90%に近い状況であることから、将来的に適正な施設規模を総合的に判断していく。

⑧ 有収率：90%を超えており類似団体と比較しても高い数値にあることから、今後も施設ごとの有収率等を把握・分析し、水準の維持に努める。

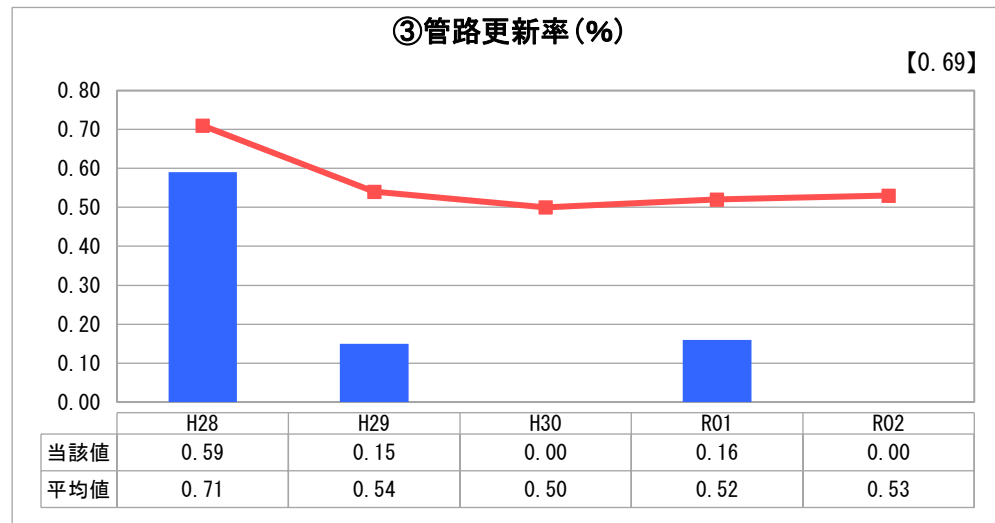
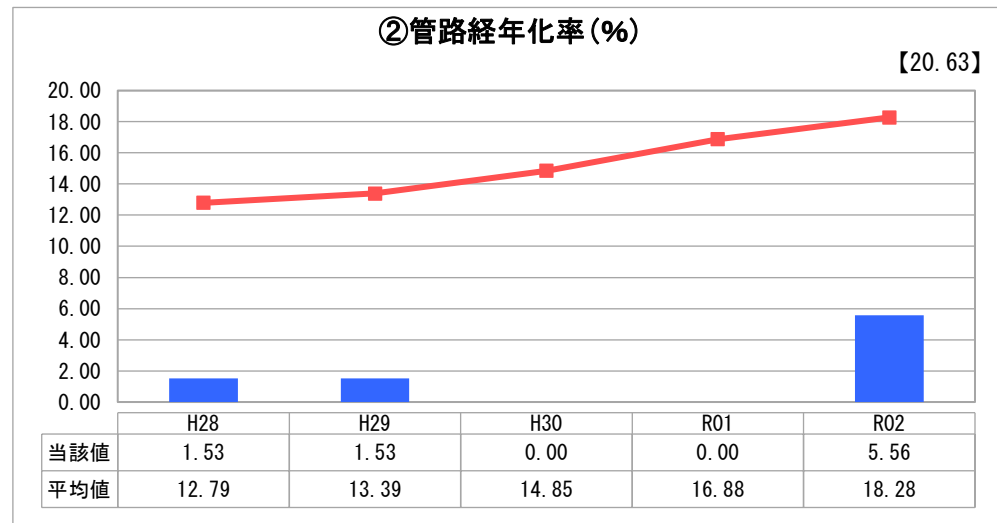
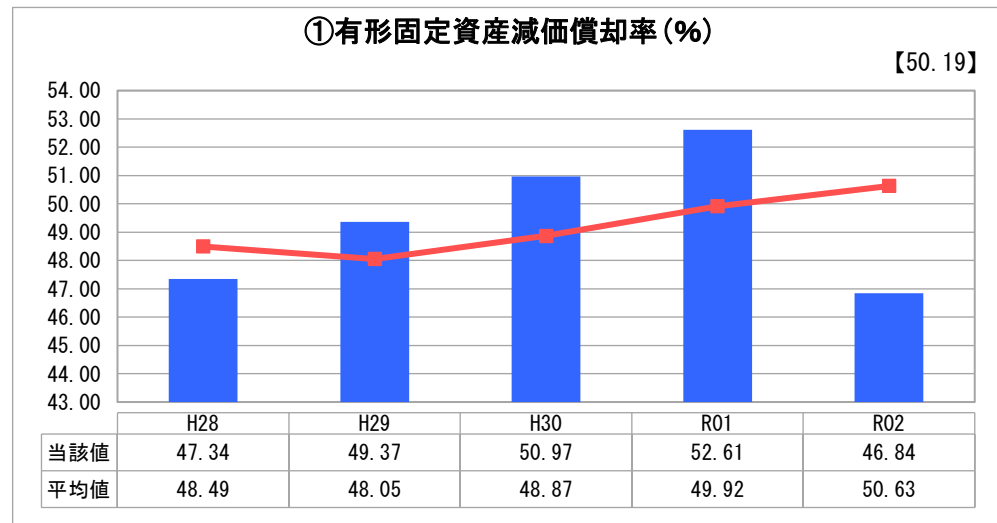
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：約50%の水準であるが、年々施設の老朽化が進行しており、今後、給水人口の減少による収益の減少が予想される中、計画的な施設更新による事業運営を行う必要がある。

② 管路経年化率：下水道事業等の工事に伴い水道管の布設替工事を行ったことにより、全体的に新し管路を有している。

③ 管路更新率：類似団体と比較して低水準であるため、「小浜市水道ビジョン」を基に計画的な更新に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状、経営状況については概ね健全であるといえるが、令和2年度より簡易水道事業と統合したことにより、前年度に比べて数値が低迷している箇所もある。また、今後予想される人口減少に伴う給水収益の減少等により、経営状況が悪化することも予想される。これに併せて、施設等の老朽化が進行していることから、更新が必要になることが見込まれるため、計画的な更新計画を策定し、健全な経営を維持する必要がある。

当市の保有している「小浜市水道ビジョン」や策定予定である施設更新計画を基に、計画的な事業経営と経営分析を行い、料金改定等の検討を行いながら健全な経営に取り組む。